

# 原発全廃訴え200人行進

## 「びわ湖一周デモ」スタート

琵琶湖の周囲を歩きながら、原発の稼働停止と全廃を訴える「びわ湖一周デモ」が4日、大津市のJR大津駅前をスタートした。参加者約200人が、初日のゴール地点である野洲市のJR野洲駅まで約26キロを進行。「原発全廃」などと書いたプラカードや横断幕を手

に、「原発は許さない」「琵琶湖と子どもたちを守ろう」と訴えた。

「さいなら・原発びわこネットワーク」などの市民団体が、2011年5月から続けてきた「脱原発市民ウォークin滋賀」の50回目として実行委員会を

設けて企画。滋賀県内を中心に京都府や大阪府、東京都などから参加者が集まった。

福島第一原発事故時に関西に一時避難した会社員奥内知子さん(69)「東京都江東区

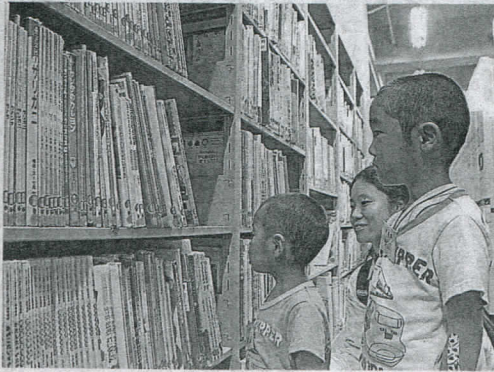


「原発反対」と声を上げながら湖岸を歩く「びわ湖一周デモ」の参加者たち(大津市打出浜)

は「東日本大震災をきっかけに脱原発の意識が高まった。同じ考えの人たちとデモに参加すること、反原発に対する強い気持ちで固まる。若い世代も」と声を上げてほし

い」と話した。デモは8日まで行われ、反時計回りに琵琶湖を一周して大津市に戻る。車で移動してデモをする6日以外はどこ

の場所からでも参る。問い合わせは行委の稲村さん携



## 地下書庫の探検楽しむ

### 大津で「みどりのつどいフェス」

「みどりのつどいスティバル」が大津市瀬田南大萱町のびわ文化公園であり、連れが県立図書館地下書庫探検や竹遊花苗の無料配布など、多彩な催しを楽しむ。地下書庫探検に40人が参加。約1万冊を収納する地庫の一部を司書ら内で1時間かけて、図書館の仕組

地下書庫にずらりと保管されている児童書を眺める親子(大津市瀬田南大萱町・県立図書館)